

工場内の安全対策確認

大垣労基署 大垣ミナモ選手が一日署長

ドリルに軍手が巻き込まれる事故を体験する
大垣ミナモSCの2選手＝垂井町表佐、伊吹
LIXIL製作所伊吹工場



ソフトボール女子JDリーグの大垣ミナモSCの2選手が21日、大垣労働基準監督署の一日監督署長を務め、伊吹LIXIL製作所

伊吹工場(垂井町表佐)をパトロールして安全対策を確認した。

一日監督署長に選ばれたのは内田小百合選手(26)＝大垣西濃信用金庫＝と岩月優衣選手(19)＝サンメッセ＝。工場内を見て回り、稼働中の機械に近づけないよう両手でのボタン操作を必須にした設計や、作業者が重い資材を持ち上げるリスクを減らしたライン作りな

ど、安全面の工夫を確認。研修用の設備で、ドリルに軍手が巻き込まれる事故などを体験した。

2人は「普段の仕事にも見えない危険が潜んでおり、小さなことにも意識を向けることが大切と感じた」などと話した。

同監督署は7～10月、労働災害防止のプロジェクトを展開。今期は労災の上位を占める「挟まれ・巻き込まれ」の防止に向け、機械や車両に近づく時はいったん止めることの徹底などを呼びかけている。

(宮本寛)